		 科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別			
実習	シャシ点検の組立調整検	分解	阿納 弘通	2	30	後期	必修			
授業の概要クラッチ装置、マニ構造および作動を										
授美		教科書を参考に、	実際の部品を確認しながら分解組立作	工作業を行う。						
至	削達目標		ニュアルトランスミッションの構造・作動原理を理解し、それらを構成す 割を説明できるようになる。							
		<u> </u>	講義内容							
時間		項目	目標	票 三						
$\begin{array}{c} 1 \\ \sim \\ 7 \end{array}$	クラッチ装置	i.	 クラッチ装置 クラッチ・ディスクの構造・構成部2)クラッチ・ディスクの動力の伝わり3)コイル・スプリング式クラッチ・カク役割を理解する。 コイル・スプリング式クラッチ・カクを学ぶ。)方を失 バーの ⁷	受割を理解する。 知る。)構造・構成部品の作動と)調整作業と、その必要性 自立要領を理解する。 。の種類と使い方を学ぶ。 構成部品・役割を理解 。 点検方法について理解					
8 ~ 28	マニュアル・	トランスミッション	 マニュアル・トランスミッション マニュアル・トランスミッションのから 動力の伝達経路を理解する。 分解作業過程中、使用する特殊 マニュアル・トランスミッションのかまする。 マニュアル・トランスミッションのかまする。 シンクロメッシュ機構の作動と点 	未工具↓ 構造・構 乍動と点	の種類と修	もい方を学 役割を理 こついて野	生ぶ。 解 里解			
29 ~ 30	実技試験									
成績	成績評価方法 実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)									
教科	書•配布物	教科書:全国自動 関係資料(プリント	車大学校・整備専門学校協会 「シャ)	_ シ構造	IJ					
アドバイス 学科又は教科書は		学科又は教科書は	こより、事前に作動を理解しておくことで	で、理解	足しやすく	なります。				

		科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別		
実習	シャシ点検タ組立調整検		阿納 弘通	2	30	後期	必修		
			いらの動力をタイヤに伝達するプロペラ 分解、組立作業を通して名称、構造お。				ト、リヤ・		
授刿	業の進め方	教科書を参考に、	実際の部品を確認しながら分解組立作	作業を行う。					
至	到達目標		ト、ドライブ・シャフト、リヤ・アクスルの分解組立点検作業により、構造・ とし、それらを構成する部品の名称・役割を説明できるようになる。						
	_		講義内容						
時間		項目	目標	<u> </u>					
$\frac{1}{\sim}$	プロペラ・シ	ヤフト	1. プロペラシャフト 1) プロペラ・シャフトの構造・構成音 2) プロペラ・シャフトの点検・分解・						
4 ~ 8	ドライブ・シュ	アフト	1. ドライブ・シャフト 1)ドライブ・シャフトの構造・構成部 2)ドライブ・シャフトの点検・分解・糸						
9 ~ 28	リヤ・アクス/ ディファレン	•	1. リヤ・アクスル 1) リヤ・アクスル、ディファレンシャル 2) 動力の伝達経路を理解する。 3) 分解作業過程中、使用する特別 4) リヤ・アクスル、ディファレンシャル解する。 5) リヤ・アクスル、ディファレンシャル理解する。	ト工具の シの構造	の種類と仮 造・構成部	お品・役割	さぶ。 を理		
29 ~ 30	実技試験								
成約	責評価方法	実技試験·80点、 ⁻	平常点・20点(※レポート提出、受講態)	度、小う	テストなど	も含む)			
教科	∤書•配布物	教科書:全国自動関係資料(プリント	車大学校・整備専門学校協会 「シャミー)	ン構造	I J				
ア	アドバイス	学科又は教科書は	こより、事前に作動を理解しておくことで	 ご、理解	足やすく	なります。			

	<u> </u>	5	科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別		
	3/203/									
実習		ィシ点検分解 L立調整検査 3 		阿納 弘通	2	27	後期	必修		
授	授業の概要		自動車のブレーキ 立つ故障探究につ	装置の分解、組立作業を通して性能や いて学ぶ。	構造を	と理解する	ると共に、	実践に役		
授美	業の進&	め方	油圧式ブレーキの	構造、作動および各部品の分解組立作	乍業を行					
至	削達目標	票	各構成部品の役目 簡単な故障探究が	、作動説明ができるようになること。 できるようになる。						
				講義内容						
- 時間	引		項目	目標	<u> </u>					
1 ~ 14		油圧式ブレーキ		油圧式ブレーキの概要を理解する 各構成部品の名称、役目、作動を学ぶ						
15 ~ 20	油点	油圧式ブレーキ		各構成部品を分解組み立てし構造等を理解する						
21 ~ 24	油戶	油圧式ブレーキ		各構成部品の故障探究、交換部品、信	故障探究、交換部品、修理方法を学ぶ					
25 ~ 27			Ť.							
成績	成績評価方法 実技試験・80点、3			^Z 常点・20点(※レポート提出、受講態)	度、小う	テストなど	も含む)			
教科			教科書:全国自動 関係資料(プリント	車大学校・整備専門学校協会 「シャ)	ン構造	ПЈ				
ア	アドバイス		分解した部品等を	しっかり見て触って基本構造を理解して	てくださ	الار» م				

		科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別		
	ャシ点検タ 立調整検		阿納 弘通	2	26	後期	必修		
		自動車のブレーキ 立つ故障探究につ	・ 装置の分解、組立作業を通して性 Oいて学ぶ。	能や構造を	全理解する	ると共に、	実践に征		
授業の進め方		エア・ブレーキの権	構造、作動および各部品の分解組 <u>、</u>	立作業を行	う。				
到達	目標	各構成部品の役員 簡単な故障探究が	目、作動説明ができるようになること。 ゞできるようになる。	,					
# [. PP			講義内容	H 1=					
時間		項目		目標					
1 ~ 11		式ブレーキ E式ブレーキ	フルエア式ブレーキ、エア・油圧式各構成部品の名称、役目、作動を		の概要に [、]	ついて学ぶ	<u>ي</u> پ		
12 ~ 18	フルエア式ブレーキ エア・油圧式ブレーキ		各構成部品を分解組み立てし構造等を理解する						
19 ~ 24	1	式ブレーキ E式ブレーキ	各構成部品の故障探究、交換部と	品、修理方	法を学ぶ				
25 ~ 26	実技試験	È							
	·配布物		平常点・20点(※レポート提出、受調			も含む)			

分解した部品等をしっかり見て触って基本構造を理解してください。

アドバイス

関係資料(プリント)

		科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別		
実習	シャシ点検急組立調整検		阿納 弘通	2	16	後期	必修		
		ボール・ナット型スして名称、構造お。	ステアリング・ギヤを用いたステアリング装置について分解、組立作業を通 よび作動を学ぶ。						
授第		教科書を参考に、	実際の部品を確認しながら分解組立作	作業を行う。					
至	到達目標		ステアリング・ギヤを用いたステアリング装置の分解組立点検作業に 原理を理解し、部品の名称・役割を説明できるようになる。						
- (. HH	1		講義内容						
時間		項目	目標	"					
1 ~ 7	ステアリング	1. ステアリング装置 1)ステアリング装置の役割と構造を理解する。 2)リンク装置の動きを理解する。 3)ステアリング・ギヤの役割と作動を理解する。 4)カットモデルによる構造と作動の確認							
8 ~ 13	ボール・ナッ ステアリング		1. ボール・ナット型ステアリング・ギャ 1) 点検・分解・組立要領を理解する 2)ボール・ナット型ステアリング・ギ 3) 構成部品の動きを理解する。	5.	きを理解	する。			
14 ~ 16	実技試験								
成績	責評価方法	実技試験・80点、፯	☑常点・20点(※レポート提出、受講態	度、小う	テストなど	も含む)			
教科	書•配布物	教科書:全国自動 関係資料(プリント	車大学校・整備専門学校協会 「シャン)	ン構造	ΙJ				
ア	アドバイス	学科又は教科書は	こより、事前に作動を理解しておくことで	ご、理解	足やすく	 なります。			

		科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別			
実習	シャシ点検急組立調整検		阿納 弘通	2	16	後期	必修			
授業の概要		フロント・ホイール	・アライメントの知識と測定方法を学ん	, ,						
授第	美の進め方	各フロント・ホイーノ	レ・アライメントの種類および役割を理	解したうえで、測定作業を行う。						
至	削達目標	ホイール・アライメ できるようになる。	メントに関する名称・役割を説明できるようになる。また、測定作業が。							
		•	講義内容							
時間		項目	E	標						
$\overset{1}{\sim}$	ホイール・ア について	ライメント	1. フロント・ホイール・アライメント 1)フロント・ホイール・アライメント 2)キャンバの位置と役割を理解 3)キング・ピン傾角の位置と役割 4)キャスタの位置と役割を理解 5)トーの位置と役割を理解する。	する。 リを理解っ する。		ける。				
8 ∼ 13	ホイール・ア 測定作業	ライメント	1. フロント・ホイール・アライメント(1) 測定器具の使用方法を理解 2) 測定前の点検要領を理解する 3) 測定作業ができるようになる。	する。	業					
14 ~ 16	実技試験									
成績評価方法 実技試験・80点、平			区常点・20点(※レポート提出、受講)	態度、小	テストなど	も含む)				
教科書・配布物 教科書:全国自動 関係資料(プリント			車大学校・整備専門学校協会 「シ)	ャシ構造	I					
アドバイス 学科又は教科書は			こより、事前に作動を理解しておくこ。	 _で、理角	— <u>—</u> 罹しやすく	なります。				